

活 用 事 例	愛知県豊橋市立牛川小学校	鈴木康弘校長
活用事例タイトル	3. 1 1 今, ぼくたちができること	
対象授業科目/活動	総合学習	
授業または活動の概要(目的、実施時期、授業の場合教科名や単元名、対象学年、参加人数、ICTの使用局面など)	<p>【単元名】 3. 1 1 今, ぼくたちができること 【授業者】 田中千晶教諭 【対象学年】 小学6年 【ICT 使用場面】</p> <p>3年7か月前の東日本大震災は、遠く離れた私たちにも大きな衝撃を与え、被災地に住む人々のことを考えると今でも心が痛む大災害である。当時2年生だった子どもたちもニュースや実際に揺れを体験したことなどから関心をもっている子が多い。テレビでも話題になった「釜石の奇跡」を教材とし、防災に対する姿勢を学ぶなかで、「いざというとき、自分たちは正しい判断をして命を守ることができるのだろうか」「何をしてあげばよいのだろうか」という疑問や思いを抱くようになり、それぞれが課題をもち、調べを進めてきた。本時は、前時に続いて、調べたことを発表し合い、得た知識を共有し、新たな課題について話し合う場面である。体験したことや取材したこと、インタビュー内容などを動画や写真を編集して効果的にプレゼンテーションすることで、クラス全体にわかりやすく効率よく伝えることができると考える。そして、自治会長へのインタビュー内容から出てきた「校区に住む一人暮らしのお年寄りをどう守るか」という大きな課題について、それぞれの調べ学習から得た知識をもとに、解決に向かって話し合いを進めていきたい。現実的には、すぐに解決できるような簡単な問題ではないが、子どもたちが身につけた知識や考えを総動員して、何とかしようと思欲的に取り組んでいく姿を目ざしたい。</p>	
ICT 活用により期待できる効果 ICT 活用のねらい	<p>【単元のねらいと目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地震が起きたとき、自分たちの住む牛川校区でどのような被害が起こるのか、またどのような備えや訓練が必要なのかなどについて、意欲的に追究しようとしている。 (関心・意欲・態度) ・ 牛川校区で想定される被害や地震に対する備えなどについて調べる活動を通して、校区に住む人たちと力を合わせることの大切さや日頃からの備えが大切であることに気づき、校区に情報を発信させようと動きだすことができる。 (思考・判断・表現) ・ 「命を守ることでできる人」になるために必要な情報を収集・整理し、友達や家族、校区の人たちに発信するために活用することができる。 (学習活動に関わる技能) ・ 牛川校区に起きた過去の災害被害や今後起こると想定されている地震に対して、どのような備えがされているか、また今後必要となるかを知ることができる。 (知識・理解) 	

- 1 単元名 3. 1 1 今、ぼくたちができること (本時14/23)
- 2 単元の目標

- ・地震が起きたとき、自分たちの住む牛川校区でどのような被害が起こるのか、またどのような備えや訓練が必要なのかなどについて、意欲的に追究しようとしている。(関心・意欲・態度)
- ・牛川校区で想定される被害や地震に対する備えなどについて調べる活動を通して、校区に住む人たちと力を合わせる大切さや日頃からの備えが大切であることに気づき、校区に情報を発信させようと動きだすことができる。(思考・判断・表現)
- ・「命を守ることでできる人」になるために必要な情報を収集・整理し、友達や家族、校区の人たちに発信するために活用することができる。(学習活動に関わる技能)
- ・牛川校区に起きた過去の災害被害や今後起こると想定されている地震に対して、どのような備えがされているか、また今後必要となるかを知ることができる。(知識・理解)

3 単元の構想 23時間完了 (※支援・留意点 ◆ICT活用)

- 被災地の小学生の日記や映像資料から、東日本大震災の様子を知り、興味をもつ。
- 『釜石の奇跡』の小学生たちの行動から、命を守るために大切なことを学ぶ。
- それぞれの課題について本やインターネットなどで調べたり、取材したりして、コラボノートにまとめる。

東日本大震災について知ろう ①

・大人を助けながら避難した子どもたちがいるらしいよ どうやって生き延びたのかな？

『釜石の奇跡』から学ぼう③

想定にとらわれない | すぐに逃げること | 最善をつくすこと

・地震から命を守るためには状況を冷静に判断して、すぐに逃げるのが大切だね
 ・牛川には、どんな危険があるのだろうか？いざというとき、自分は冷静に判断できるだろうか逃げるができるだろうか？

- ◆被災地の様子がよくわかるように、写真や動画、アニメーションなどの映像資料を大型テレビに映して提示する。【興味関心】
- ◆友達の考えを共有しながら、自分の考えを深めていくために、コラボノートに学習のまとめをする。【ふり返り】



どうしたら命を守ることができる人になれるのかな？調べよう⑧

危険な状況はどうやって判断するのかな？(本、インターネット)	震度6ってどのくらい揺れるのだろうか？	牛川にはどんな危険があるの？(ハザードマップ・校区探検)
大地震のとき、どんなことが起こるの？(被災地の子どもたちの作文・インターネット)	どんな備えをしておいたらいいのかな？(本・インターネット)	みんなにも手伝ってもらおう
どんな訓練をしておいたらいいのかな？(本・インターネット)	ぐらっと号での揺れ体験(共通)	アンケートから備えをしていない家がたくさんあることがわかったよ
身の守り方訓練(共通)	どこに避難したらいいの？(自治会長さんへのインタビュー)	通学路危険調べ(共通)
いろいろな訓練方法があるんだね。みんなで作ってみよう	一人暮らしのお年寄りをどう避難させるかが課題なんだって	牛川も災害にあったことがあるのかな？(自治会長さんへのインタビュー)

- ◆互いに情報を交換し、協力して調べ学習を進めることができるように、毎回コラボノートを使ってふり返りを行う。【情報共有】
- ◆クラス全体にわかりやすく伝えるために、内容に合わせて、発表名人やコラボノートを使って発表する。【表現・説明】

※発表内容から課題が見つかるように板書を工夫する。

- 調べたことを発表し合い、新たな課題を見つける。

調べたことを伝え合おう③ (本時2/3)
 ～今、ぼくたちができることは何かな？～

津波の心配はなさそうだね。建物の倒壊のほうが心配だよ
 ・家を建てかえるのは、簡単にはできないよ

- ・釜石では、子どもたちが死に逃げる様子を見て、大人も逃げる気になったよ
- ・声をかけ合って逃げた子どもたちもいたね
- ・ぼくたちだけで、お年寄りを守るのは無理だよ
- ・大人の人の協力が必要だね
- ・近所にどんな人が住んでいるのかわからない
- ・呼びかけることなら、ぼくたちにもできるよ
- ・お年寄りだけでなく、校区の人にも調べたことを伝えたいね
- ・リーフレットを作って配ったらどうだろうか？

- ・古い家に住んでいるお年寄りも多いよ
- ・備えをしていない家もたくさんあったよ
- ・避難場所もわかりやすく伝えたいね

「3. 1 1 牛川プロジェクト」を実行しよう⑧

リーフレットを読んだ大人たちが、すすんで逃げる大切さや校区のお年寄りの方々のことを考えてくれるといいな。そしていざという時、みんなで命を守れるといいね

- ◆わかりやすく、見やすいリーフレットをつくるために、紙面構成や内容の精選をはかり、発表名人を使ってまとめる。【表現・説明】
- ※活動の価値を実感し、今後の活動へといかせるように、ふり返りを行う。

4 本時の授業について

3年7か月前の東日本大震災は、遠く離れた私たちにも大きな衝撃を与え、被災地に住む人々のことを考えると今でも心が痛む大災害である。当時2年生だった子どもたちもニュースや実際に揺れを体験したことなどから関心をもっている子が多い。テレビでも話題になった「釜石の奇跡」を教材とし、防災に対する姿勢を学ばなかで、「いざというとき、自分たちは正しい判断をして命を守ることができるのだろう

か」「何をしてあげばよいのだろうか」という疑問や思いを抱くようになり、それぞれが課題をもち、調べを進めてきた。本時は、前時に続いて、調べたことを発表し合い、得た知識を共有し、新たな課題について話し合う場面である。体験したことや取材したこと、インタビュー内容などを動画や写真を編集して効果的にプレゼンテーションすることで、クラス全体にわかりやすく効率よく伝えることができる。そして、自治会長へのインタビュー内容から出てきた「校区に住む一人暮らしのお年寄りをどう守るか」という大きな課題について、それぞれの調べ学習から得た知識をもとに、解決に向かって話し合いを進めていきたい。現実的には、すぐに解決できるような簡単な問題ではないが、子どもたちが身につけた知識や考えを総動員して、何とかしようと意欲的に取り組んでいく姿を目ざしたい。

(1) 目標

- ・調べたことがクラスみんなにわかりやすく伝わるように発表することができる。
- ・「一人暮らしのお年寄りをどう守るか」という課題について自分の調べをもとに考えることができる。

(2) 準備 PC, OHC, タブレット端末

(3) 展開

時間	学習活動	※支援・留意点	◆ICT活用	☆評価(方法)
	1 学習のめあてを確認する。			
	調べたことを伝え合おう～命を守る人になるために、今ぼくたちができることは何だろう？～			
2	2 調べたことをチームごとに発表し、新たな課題について話し合う。			※後の活動に向けて、子どもたちが常に自分たちの活動をふり返ることができるように、学びの軌跡を教室に掲示しておく。
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> 大地震にどう備えるか 本やインターネットで調べたよ ・揺れている間の様子を東北の子の作文から考えたよ ・揺れ始めてから最初の8秒間の行動が大切だって本に書いてあったよ ・8秒間で何ができるのかを実際に試してみたよ ・避難場所や避難経路、身の守り方を知っておくことも大切だね ・一人暮らしのお年寄りや体の不自由な人に、なかなか情報が伝わらなかつたらしいよ </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> 牛川の過去の浸水被害について 自治会長さんに話を聞いてきたよ ・豊川が増水すると、暮川や若宮付近は水が入るらしい ・水が70cmの高さまでくるのに1時間。だから新しい道路は70cm高く造ってあるんだって ・災害時のことを考えて道路が造ってあるんだね ・地域の一人暮らしのお年寄りがどうやって避難するのかが難しい問題なんだって </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 牛川で想定される被害について 危なそうな場所を見つけたよ ・津波の被害は、まずなさそうだけど、建物の倒壊や液状化が心配だよ ・家の中にも、家具の下敷きになる心配もあるよ ・家具を金具で固定をしたり、倒れそうな家具のそばで寝たりしないように日頃から備えておくことが大事だよ ・古い家は倒壊する心配があるらしいよ ・お年寄りが一人で住んでいる家もあったよ </div>	<p>◆クラス全体にわかりやすく伝えるために、発表名人やコラボノートで発表を行う。 【表現・説明】</p> <p>※「一人暮らしのお年寄りをどう守るか」という課題について考える際に、これまでの発表がいかせるように、板書を工夫する。</p> <p>※意見が出しやすいように、小グループでの話し合いから始め、全体へとつなげていく。</p> <p>◆状況を想起しやすくするために、必要に応じて各グループの調べを資料として大型テレビに提示する。 【情報共有】</p> <p>☆友達の見や調べ学習で得た知識から、どうしたらお年寄りを守ることができるのかを自分なりに考えることができたか。(発言・ワークシート)</p>		
17	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px; text-align: center;"> どうしたら一人暮らしのお年寄りを守るかな？ </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="border: 1px solid gray; border-radius: 50%; padding: 10px; width: 30%;"> <ul style="list-style-type: none"> ・釜石の時みたいに、逃げようと思わない人もいると思うよ ・逃げることの大切さを知ったら、逃げようと思うかも ・避難所の場所や危ない場所を知っておく必要があるね </div> <div style="border: 1px solid gray; border-radius: 50%; padding: 10px; width: 30%;"> <ul style="list-style-type: none"> ・避難するときに声をかけ合って逃げたらいいよ ・ぼくたちだけでお年寄りを助けるのは無理だよ ・地域の大人の人の協力が必要だね ・呼びかけることならぼくたちにもできるね </div> <div style="border: 1px solid gray; border-radius: 50%; padding: 10px; width: 30%;"> <ul style="list-style-type: none"> ・変な人だったら声をかけるのも怖いよ ・近所にどんな人が住んでいるか知らないよ ・お年寄りのことだけでなく、命を守るためにできることもみんなに知らせたいね </div> </div>			
40	3 本時の学習をふり返る			
	<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> みんなが命を守ることができるように、校区の人にも調べたことを伝えたいね </div> <ul style="list-style-type: none"> ・大地震の時、自分たちだけでなく、お年寄りや校区の人たちみんなが助かるようにしたいと思ったよ ・どうしたら調べたことを校区の人たちにわかりやすく伝えることができるのか話し合いたいな 			